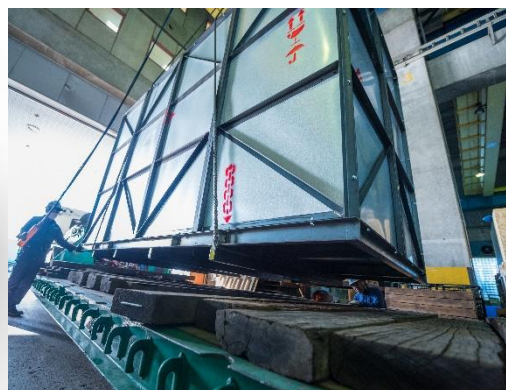


2022年3月期 決算説明会

地球をつつむ思いやり
ロジスティクスパートナー サンリツ

株式会社サンリツ
2022年6月8日

東証スタンダード
【証券コード：9366】



本日のご説明内容

- 1. 2022年3月期 決算概要：前期比増収・増益**
- 2. 中期経営計画の進捗状況**
- 3. 2023年3月期 業績予想：前期比減収・減益**

- 1. 2022年3月期 決算概要** **P 3**
2. 中期経営計画の進捗状況 **P 8**
3. 2023年3月期 業績予想 **P15**
4. トピックス **P20**
5. 参考資料 **P23**

1-1. 2022年3月期 決算概要

・ 増収増益／工作機械及び半導体製造装置取扱い増加

(単位：百万円)

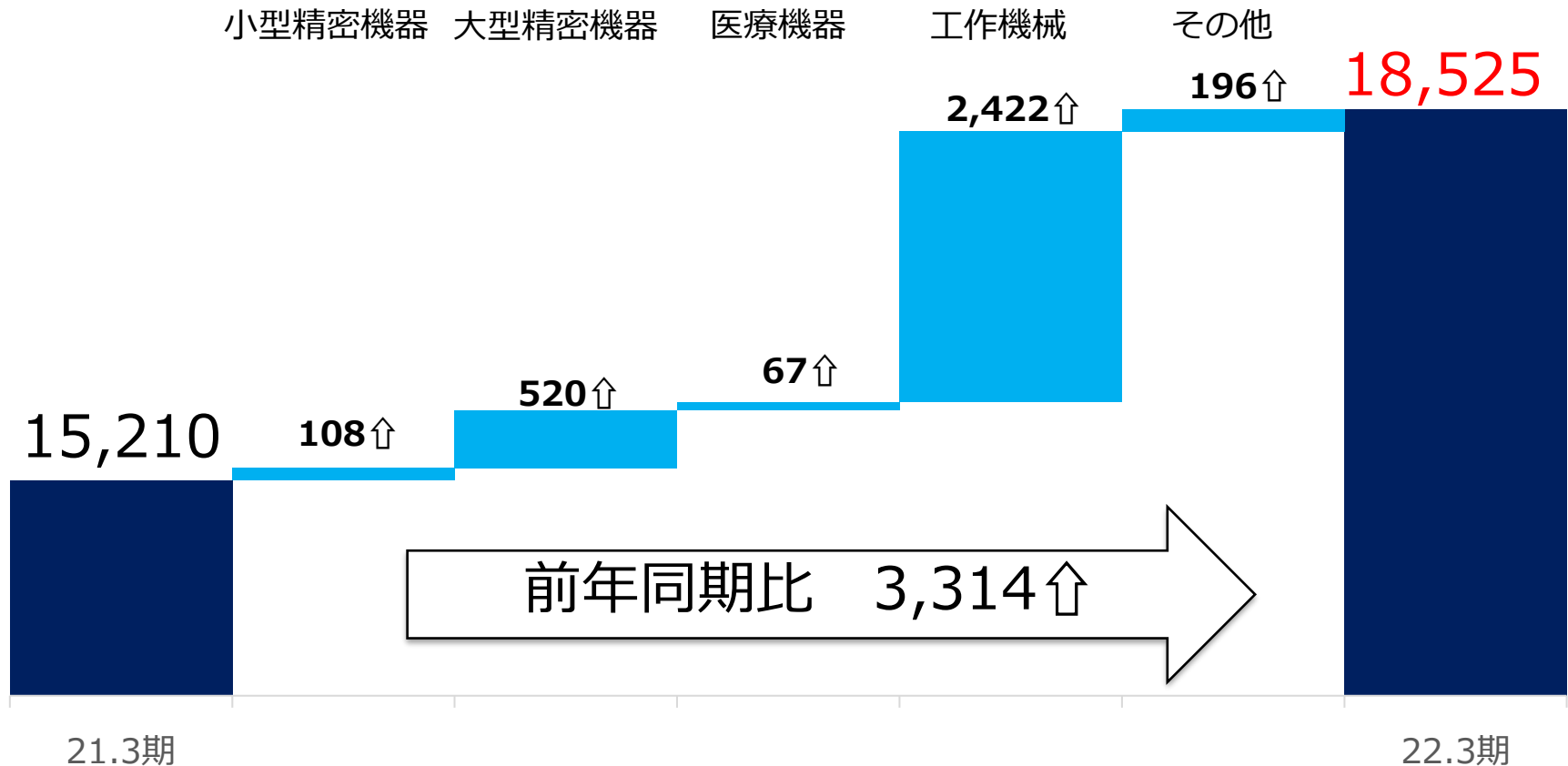
	2021.3期	2022.3期	前期比 増減率	2022.3期 予想	予想比 増減率
売上高	15,210	18,525	21.8%	17,000	9.0%
売上原価 (売上原価率)	12,024 (79.1%)	14,683 (79.3%)	22.1% (0.2%)	—	—
売上総利益 (売上総利益率)	3,186 (20.9%)	3,841 (20.7%)	20.6%	—	—
販管費 (販管費率)	2,587 (17.0%)	2,780 (15.0%)	7.5% (▲2.0%)	—	—
営業利益 (営業利益率)	599 (3.9%)	1,060 (5.7%)	77.0%	1,100 (6.5%)	▲3.6%
経常利益 (経常利益率)	519 (3.4%)	1,107 (6.0%)	113.1%	1,100 (6.5%)	0.7%
親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率)	367 (2.4%)	759 (4.1%)	106.6%	700 (4.1%)	8.5%
1株当たり 当期純利益(円)	65.79	135.15	105.4%	124.95	8.2%

1-2. 2022年3月期 取扱製品群別 決算概要

- ・ 前年大幅に取扱いが減少していた工作機械の取扱い増加
- ・ 半導体製造装置を含む大型精密機器も取扱いが増加

(単位：百万円)

製品群別売上高の増減分析



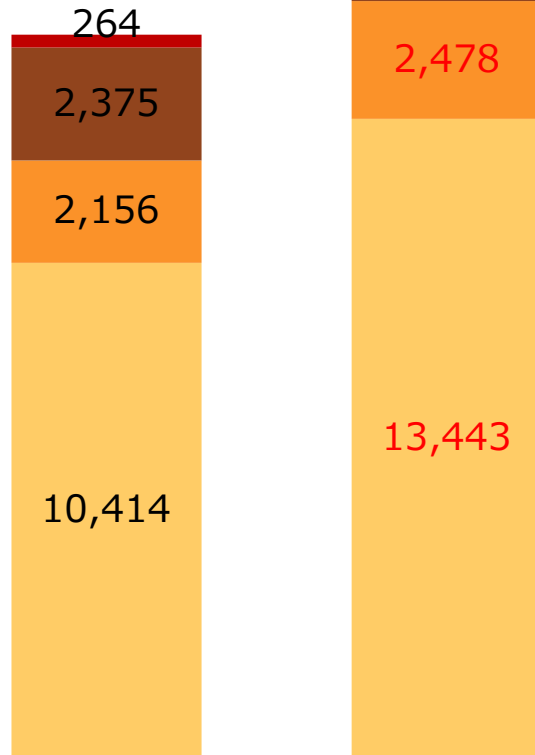
1-3. 2022年3月期 セグメント別 決算概要

売上高

(単位：百万円)

15,210

18,525



21.3期

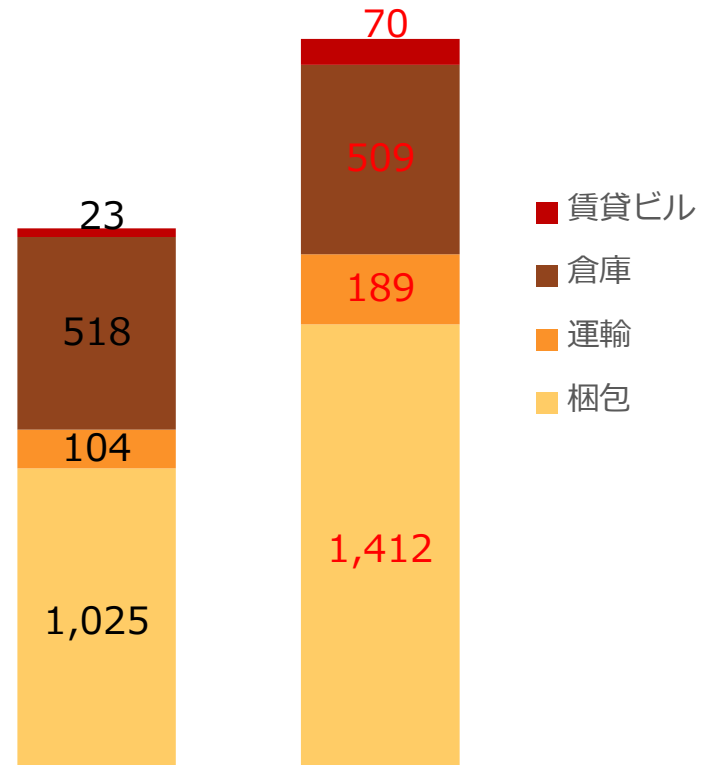
22.3期

セグメント利益

(単位：百万円)

1,672

2,182



21.3期

22.3期

1-4. 2022年3月期 地域別売上高 決算概要

- ・ 米国、中国ともに2021.3期コロナの影響で取扱い大幅減少
- ・ 米国は2022.3期においては回復傾向

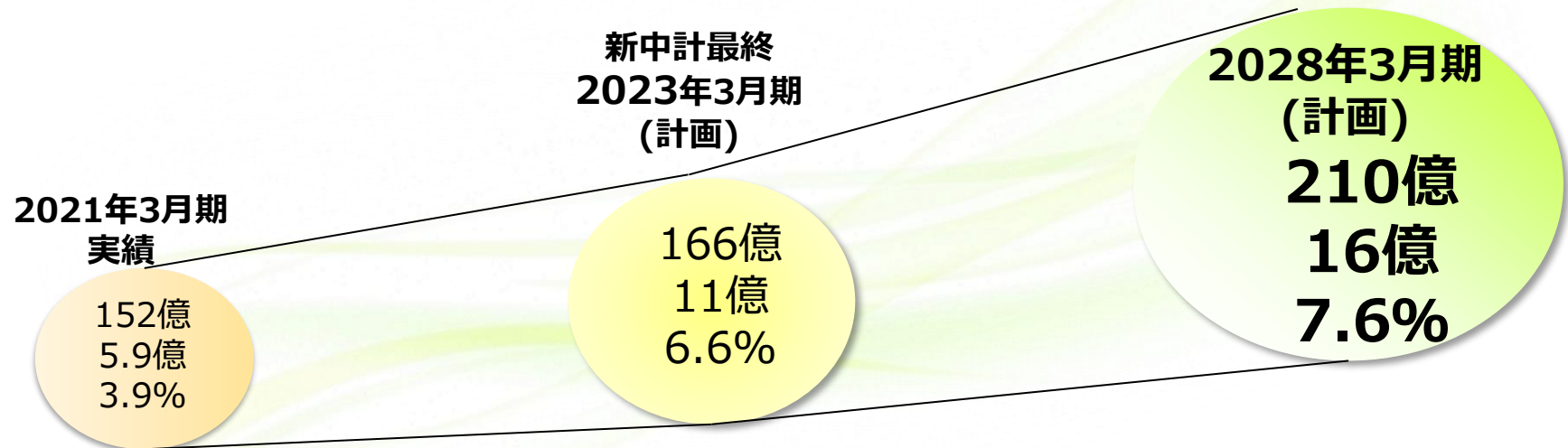
(単位：百万円)

	2021.3期	2022.3期	構成比	前期比 増減額	前期比 増減率
日 本	14,476	17,297	93.4%	2,820	19.5%
中 国	68	81	0.4%	13	20.1%
米 国	666	1,147	6.2%	480	72.2%
合 計	15,210	18,525	100.0%	3,314	21.8%

1. 2022年3月期 決算概要 P 3
- 2. 中期経営計画の進捗状況 P 8**
3. 2023年3月期 業績予想 P15
4. トピックス P20
5. 参考資料 P23

2-1. 中期経営計画の策定にあたって

- 各部署とも今まで以上にソリューションの実現に向けて新しいチャレンジを行い、利益率の向上を図る。
- 80周年を迎える2028年3月期の連結営業利益率の目標値を7.6%と定め、今回の2か年計画では営業利益率6.6%を目指す。



2-2.中期経営計画の概要

◆ビジョン(中長期的に目指す姿)

オペレーションから ソリューションへ

◆経営目標

期 間	2023年3月期 最終目標	(参考) 2021年3月期	伸び率
2021年4月 ~ 2023年3月	売 上 高 16,600百万円	15,210百万円	9.1%
	営 業 利 益 1,100百万円	599百万円	83.6%
配当方針	営業利益率 6.6%	3.9%	2.7pts
30%目途	R O E 7.3%	4.4%	2.9pts

2-3. 中期経営計画の進捗

- ・ 売上目標は前倒しで達成、2023年3月期も達成予想
- ・ 営業利益率は2022年3月期末達、2023年3月期も未達予想

【中期経営計画】

(単位：百万円)

	【参考】 2021.3期 実績	2022.3期 計画	2023.3期 計画
売上高	15,210	16,200	16,600
営業利益	599	1,000	1,100
営業利益率	3.9%	6.2%	6.6%

【実績と予想】

	【参考】 2021.3期 実績	2022.3期 実績	2023.3期 予想
売上高	15,210	18,525	18,000
営業利益	599	1,060	900
営業利益率	3.9%	5.7%	5.0%

2-4-1. 中期経営計画の概要及び進捗状況

【国内事業の主な進捗状況】

1. 精密機器/医療機器

・取引採算の向上

→ メディカル推進TEAMを組成し、外資系医療機器メーカーの新規案件を獲得、2021年10月より業務開始。

・顧客の生産効率向上に寄与するソリューションを提案

→ 米欧向けK/D(knock-down)部品輸出案件業務開始

・既存拠点の再構築の検討をスタート(成田地区、多摩地区)

→ 成田空港の機能強化を目指した滑走路の延伸計画を受け、荷量の増加が予想される成田地区にて、成田事業所拡大プロジェクトの立ち上げ

2. 工作機械

・海外子会社と連携したシームレスな国際一貫物流サービスを提供

→ 工作機械メーカー様へ一貫物流を日米連携で提案中

2-4-2. 中期経営計画の概要及び進捗状況

【海外事業の主な進捗状況】

1. 米国西海岸に新倉庫を建設し、業容拡大を図る。

◆新倉庫の概要

敷地：5,548m²(1,678坪)

延床面積：2,508m²(760坪)

主要設備：オーバ-ヘッドクレーン30 t 2基

建設費用：7,500千米国ドル（約824百万円）

完成予想図



- ・当初2022年7月竣工予定とするも、コロナ禍の影響により2022年12月竣工に後ろ倒し見込み

2. 顧客のグローバル製造における潜在的な物流課題の解決をサポート

→ 工作機械メーカー様へ一貫物流を日米連携で提案中

2-4-3. 中期経営計画の概要及び進捗状況

(1) 組織

◆ 事業戦略部の設置

- 物流倉庫 3Dソフトの導入
 - ・ 物流倉庫のレイアウト図面を立体化。
- 動画マニュアル作成ツールの導入予定
 - ・ 物流DXへの一歩として、作業の可視化・標準化を実施。
- 自動フォークリフトの実証実験予定
 - ・ 省人化を目的とし、導入を検討中。



導入予定無人
フォークリフト

(2) 人材

◆ 人材育成の強化

- 幹部人材育成研修実施
- 「やりがい」、「働きがい」のある職場実現のため、職場環境改善の設備投資、職場環境アンケート、従業員エンゲージメントを実施。

(3) 設備投資

◆ 設備投資 2年総額25億円

- 主な投資内容米国子会社の西海岸にて、新倉庫を建設中。
(総費用11,700千米国ドル)

1. 2022年3月期 決算概要 P 3
2. 中期経営計画の進捗状況 P 8
- 3. 2023年3月期 業績予想 P15**
4. トピックス P20
5. 参考資料 P23

3-1. 2023年3月期 業績予想

減収減益

- ・ 日本経済：持ち直しの動きが継続
- ・ 国際貨物：海上輸送の混乱の長期化
- ・ 積極的な人材確保など事業運営の基盤強化

(単位：百万円)

	2022.3期	2023.3期 予想	前期比 増減	前期比 増減率
売上高	18,525	18,000	▲525	▲2.8%
営業利益 (営業利益率)	1,060 (5.7%)	900 (5.0%)	▲160	▲15.2%
経常利益 (経常利益率)	1,107 (6.0%)	840 (4.7%)	▲267	▲24.1%
親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率)	759 (4.1%)	580 (3.2%)	▲179	▲23.6%
ROE (自己資本利益率)	8.5%	6.1%	▲2.4pts	—
1株当たり 当期純利益(円)	135.15	103.23	▲31.92	▲23.6%
1株当たり配当(円)	40	30	—	—

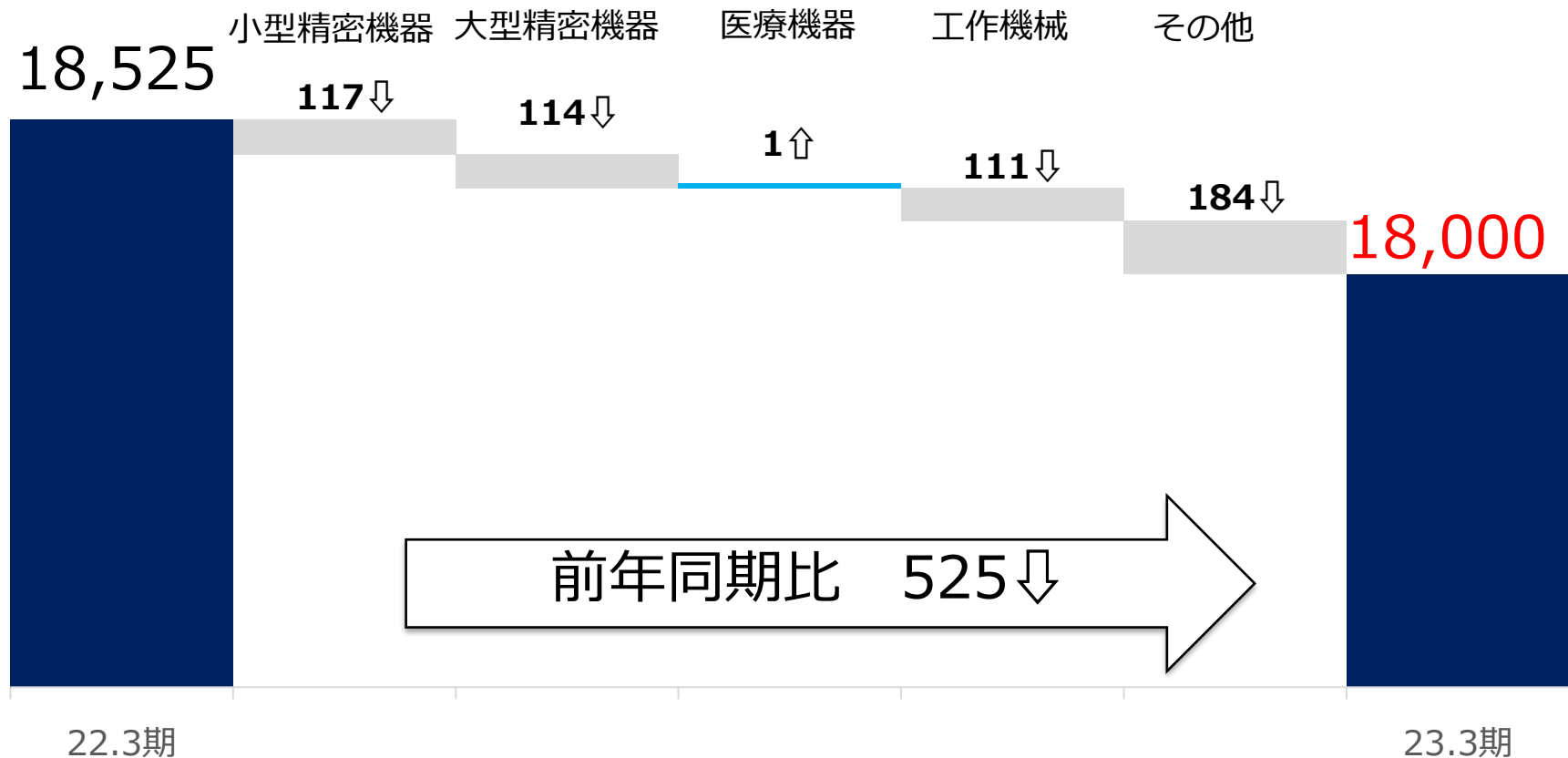
【参考】 ◆設備投資 22.3期実績 10億円 23.3期予想 14.4億円
 ◆減価償却 22.3期実績 7.3億円 23.3期予想 7.2億円

3-2. 2023年3月期 取扱製品群別 業績予想

- 海上輸送混乱の長期化及び部品不足の影響等で減収予想

(単位：百万円)

製品群別売上高の増減分析



3-3. 2023年3月期 地域別売上高 業績予想

米国：部品不足など下押し要因 工作機械の取扱いは前期と同水準程度を予想

(単位：百万円)

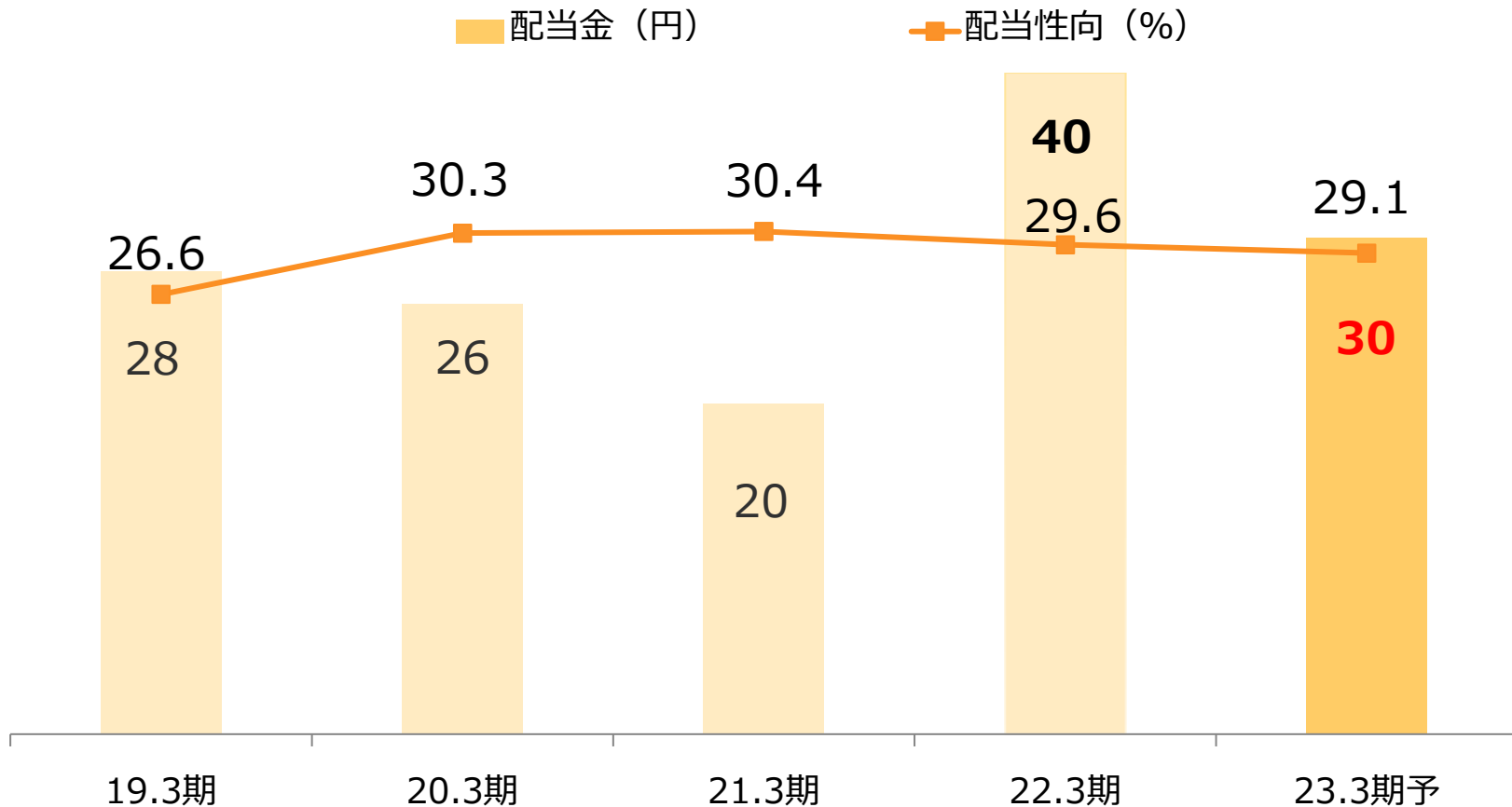
	2022.3期	2023.3期 予想	構成比	前期比 増減	前期比 増減率
日 本	17,297	16,600	92.2%	▲697	▲4.0%
中 国	81	190	1.1%	+109	+134.6%
米 国	1,147	1,210	6.7%	+63	+5.5%
合 計	18,525	18,000	100.0%	▲525	▲2.8%

為替レート 2022.3期 1ドル=109.80円 1人民元=17.03円
2023.3期 1ドル=121.00円 1人民元=19.00円

3-4.配当について

2023.3期：配当性向30%程度を維持

2022.3期：配当予想を37円から40円へ増配



1. 2022年3月期 決算概要 P 3
2. 中期経営計画の進捗状況 P 8
3. 2023年3月期 業績予想 P15
- 4. トピックス P20**
5. 参考資料 P23

【参考】トピックス

サステナビリティ基本方針の策定

— サステナビリティ基本方針 —

サンリツグループは、「美しく魅力のある会社サンリツの実現を目指します」との企業理念を踏まえ、誠実な事業活動を通じて、社会の持続的成長に貢献します。

- 1 「経営品質の向上」のため、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいきます。
- 2 物流の課題をソリューションすることで、新しい価値を創造します。
- 3 すべての人々の人権を尊重し、ダイバーシティ&インクルージョンを推進します。
- 4 安全・安心で働きがいのある職場環境を実現していきます。
- 5 お取引先様、従業員、株主、地域の皆様等のステークホルダーと積極的にコミュニケーションを取ることで、「物流品質の向上」につなげていきます。

※ 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

問い合わせ先：企画部 03-3471-0463



1. 2022年3月期 決算概要 P 3
2. 中期経営計画の進捗状況 P 8
3. 2023年3月期 業績予想 P15
4. トピックス P20
5. **参考資料** **P23**

【参考】2022年3月期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	2021.3期	2022.3期	前期比 増減	負債 純資産の部	2021.3期	2022.3期	前期比 増減
流動資産	6,398	6,707	308	流動負債	5,439	5,957	518
有形固定資産	11,458	11,724	265	固定負債	5,669	5,077	▲592
無形固定資産	28	133	104	負債合計	11,108	11,034	▲73
投資その他の資産	1,854	1,918	64	純資産合計	8,630	9,448	817
固定資産合計	13,340	13,775	435				
資産合計	19,739	20,483	743	負債・純資産 合計	19,739	20,483	743

【参考】2022年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2021.3期	2022.3期	主な要因
期首残高	1,736	2,861	
期中増減額	1,125	▲112	
営業活動によるキャッシュフロー	1,139	1,232	税引前当期純利益：1,111百万円 減価償却費：737百万円
投資活動によるキャッシュフロー	▲197	▲973	有形固定資産の取得による支出： ▲846百万円
財務活動によるキャッシュフロー	186	▲430	有利子負債の減少：314百万円
換算差額	▲4	59	
期末残高	2,861	2,749	

【参考】梱包事業について

■ 進駐軍搬入の特別仕様の梱包指名を受ける

米軍の精密機器をミル規格に則って梱包しなければならなかったが規格に則ってきちんと梱包していた為、高い評価を受け、検査官からの信用も得ていた。

■ 防衛庁(現防衛省)から精密機器の輸送・梱包の仕事

「防衛庁規格」=ミル規格を参考に作成された非常に厳しい規格。
しかし、当社はこれを得意としており、防衛庁の検査官からも当社は高い評価を得ていた。

→「梱包が難しいものならサンリツに」といわれるまでに、信用されていた。

「信用」と「高い梱包技術」が当社の財産

【参考】事業概要

梱包事業

- 小さな精密機器から超重量貨物までの梱包を多岐に渡り対応
- 製品形状や特質・送り先（国内外）・輸送状況を考え、製品の品質を保つ
- コスト的にも最善な梱包形態を提供

運輸事業

- 精密機器、電機通信機器、計測器、医療機器などエレクトロニクス関連の製品を中心に低コストで配送
- 協力会社のサポートによる全国配送も可能
- 引越など輸送に関わる幅広い業務を行う

倉庫事業

- 空調を完備した快適な環境
- 24時間フルタイム管理・警備対応
- 梱包工場としての機能を有しており、流通加工、開梱並行処理拠点として機能していることに加えて、取扱製品に応じた設備を有する

国際物流

- ・ 保税蔵置場に梱包工場を併設
- ・ 梱包から保税蔵置・通関そして港湾・空港への輸送にいたるまで自社で対応
- ・ NVOCC（外航利用運送事業者）として船会社からスペースを買い取ることで、目的地までの最適な輸送方法を、一貫した運用責任の下、提供する

3PL

- ・ 物流改革の提案を行い、物流業務を包括的に引受ける
- ・ 高度な梱包技術と包装設計を駆使し、自社内での梱包、輸配送、保管、在庫管理、保税通関、エンドユーザーまで届けている

包装設計

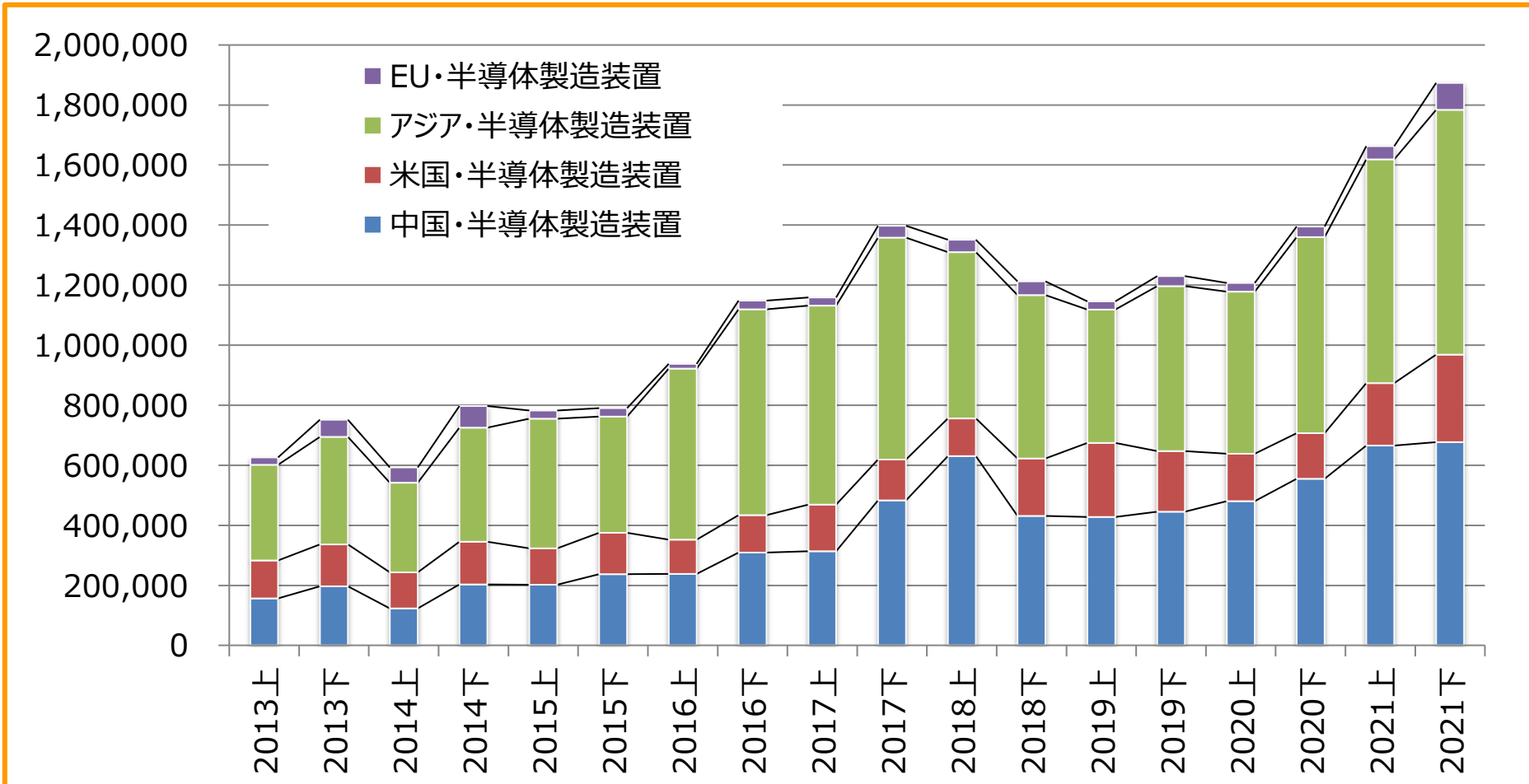
- ・ 取扱製品が多岐に渡るため、様々な包装技術・技法及び材料を採用している
- ・ 地球環境保護問題に対応した包装技術・技法の改善、向上を図っている
- ・ 常に新包装技術の開発を行っている

【参考】外部環境(～2021年度下期)

品目別輸出金額 年別推移 (半導体製造装置)

※半導体等製造装置…半導体ボール又は半導体ウエハー製造用の機器
半導体デバイス又は集積回路製造用の機器

(単位：百万円)



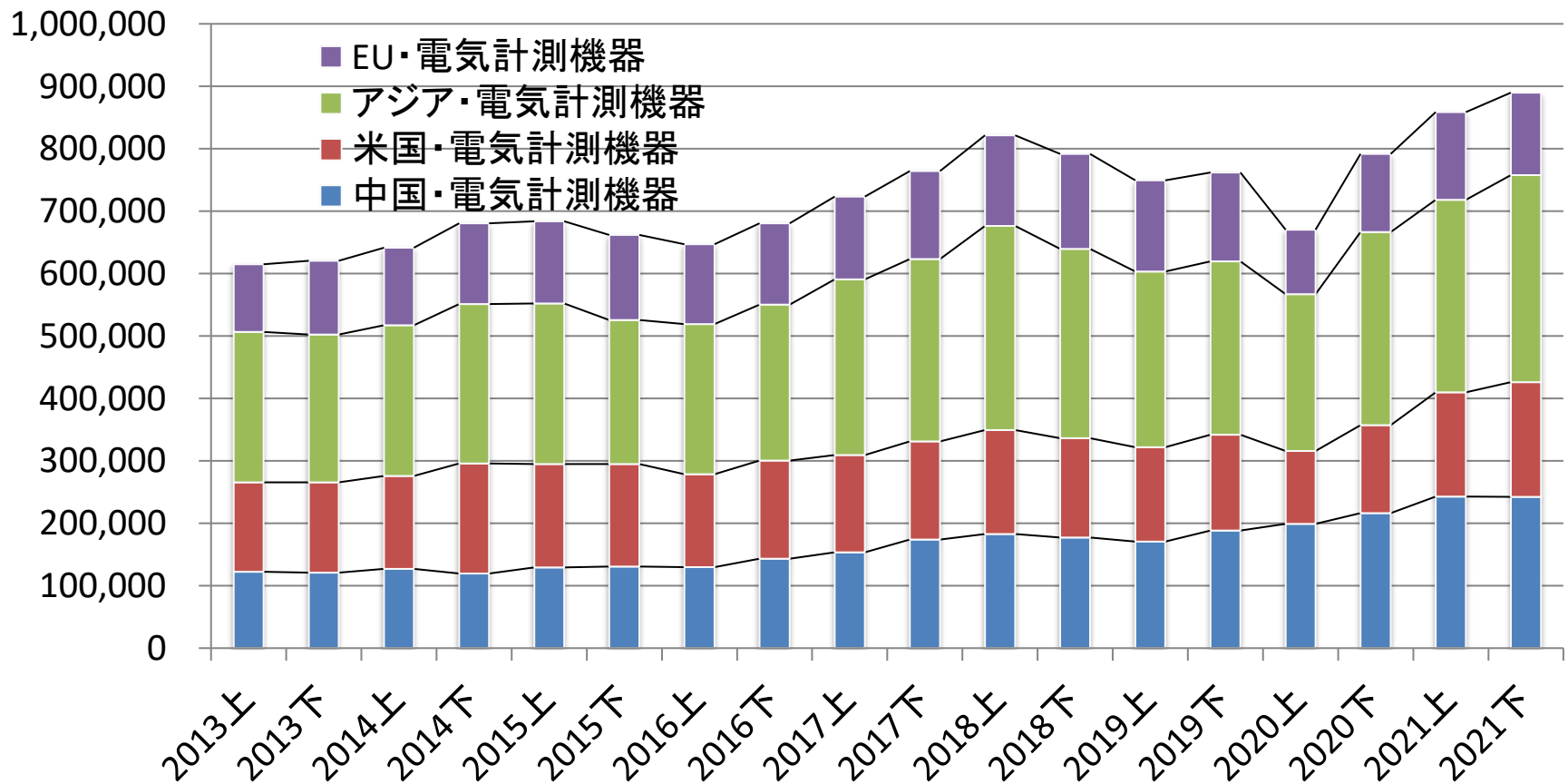
・半導体製造装置は2020年下期より、大幅な増加が続いている。

【参考】外部環境(～2021年度下期)

品目別輸出金額 年別推移 (電気計測機器)

※電気計測機器…マイクロメーター、電気用計器など

(単位：百万円)



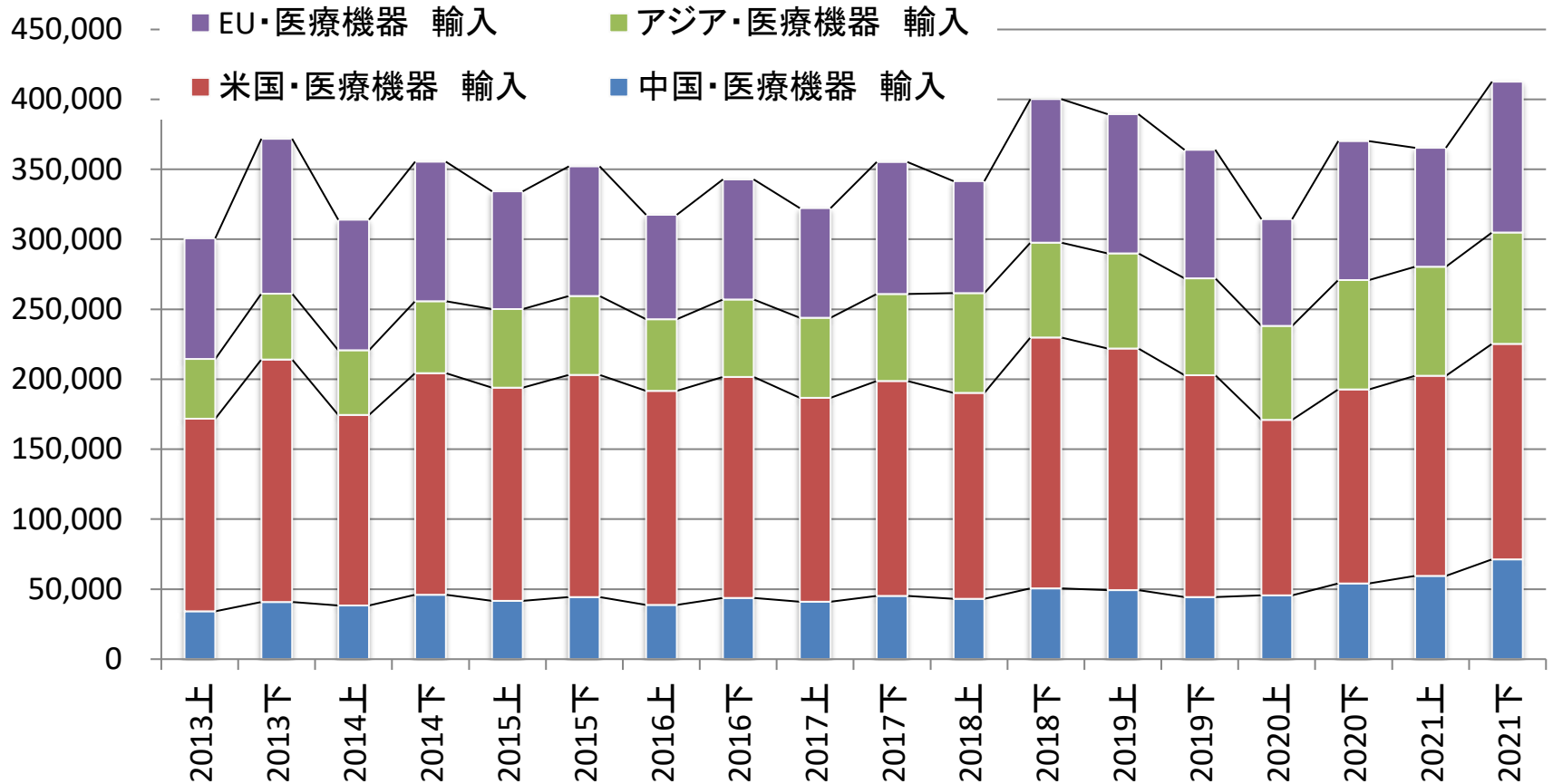
- 電気計測機器は2018年上期より減少傾向にあったが、2020年下期には増加に転じている。

【参考】外部環境(～2021年度下期)

品目別輸入金額 年別推移 (医療機器)

※医療機器…医療用または獣医用機器、診断用電気機器、エックス線などを使用する機器など

(単位：百万円)



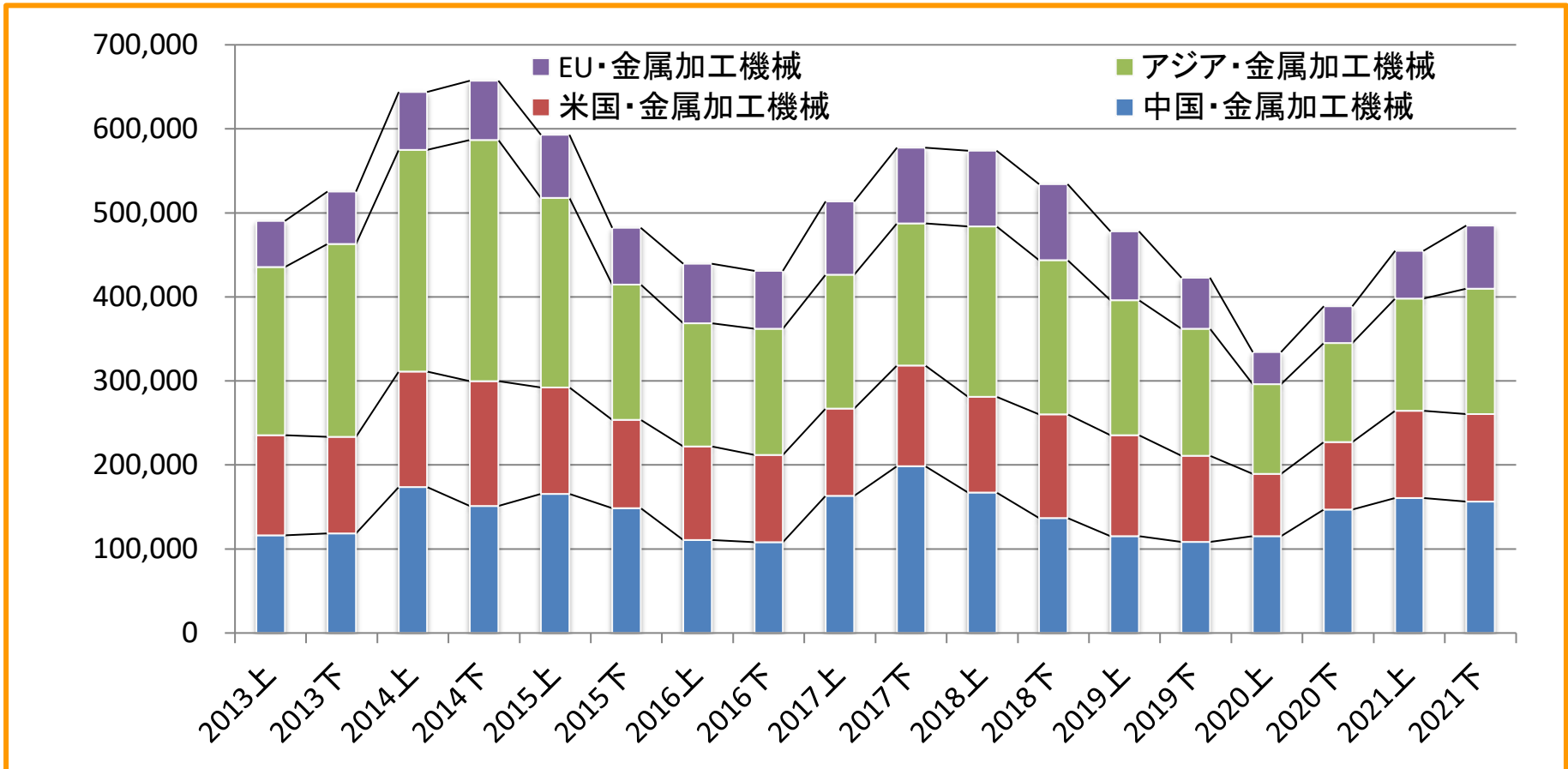
- ・ 2020年下期より回復に転じ、コロナ禍前の水準まで回復している。

【参考】外部環境(～2021年度下期)

品目別輸出金額 年別推移 (金属加工機械)

※金属加工機械…旋盤、研削盤、金属加工用のマシニングセンターなどその他の加工機械

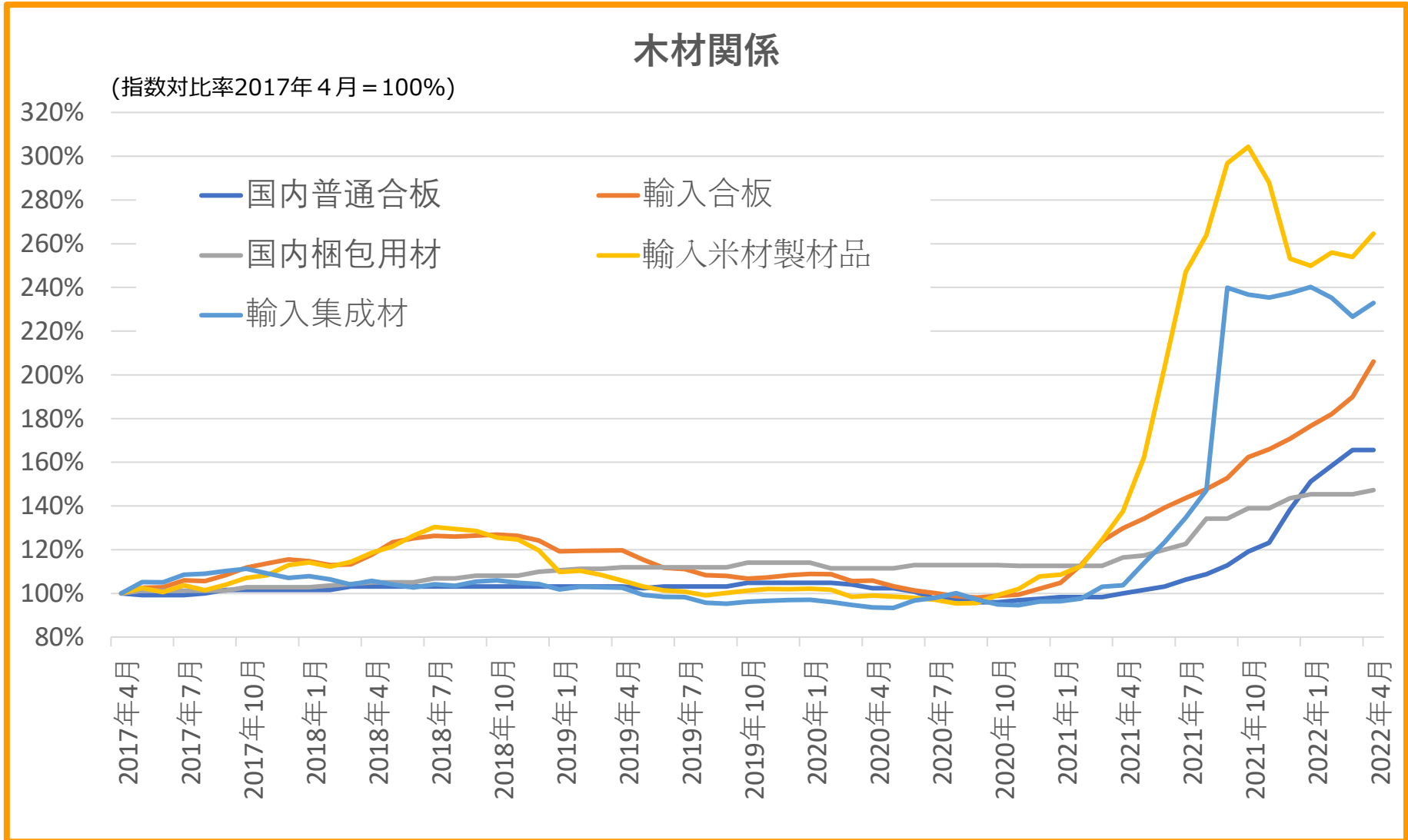
(単位：百万円)



- 金属加工機械はシクリカルな業界動向の中で、2017年下期をピークにダウントレンドに入っているものの、2020年上期には底を打ち、アップトレンドへ転換している。

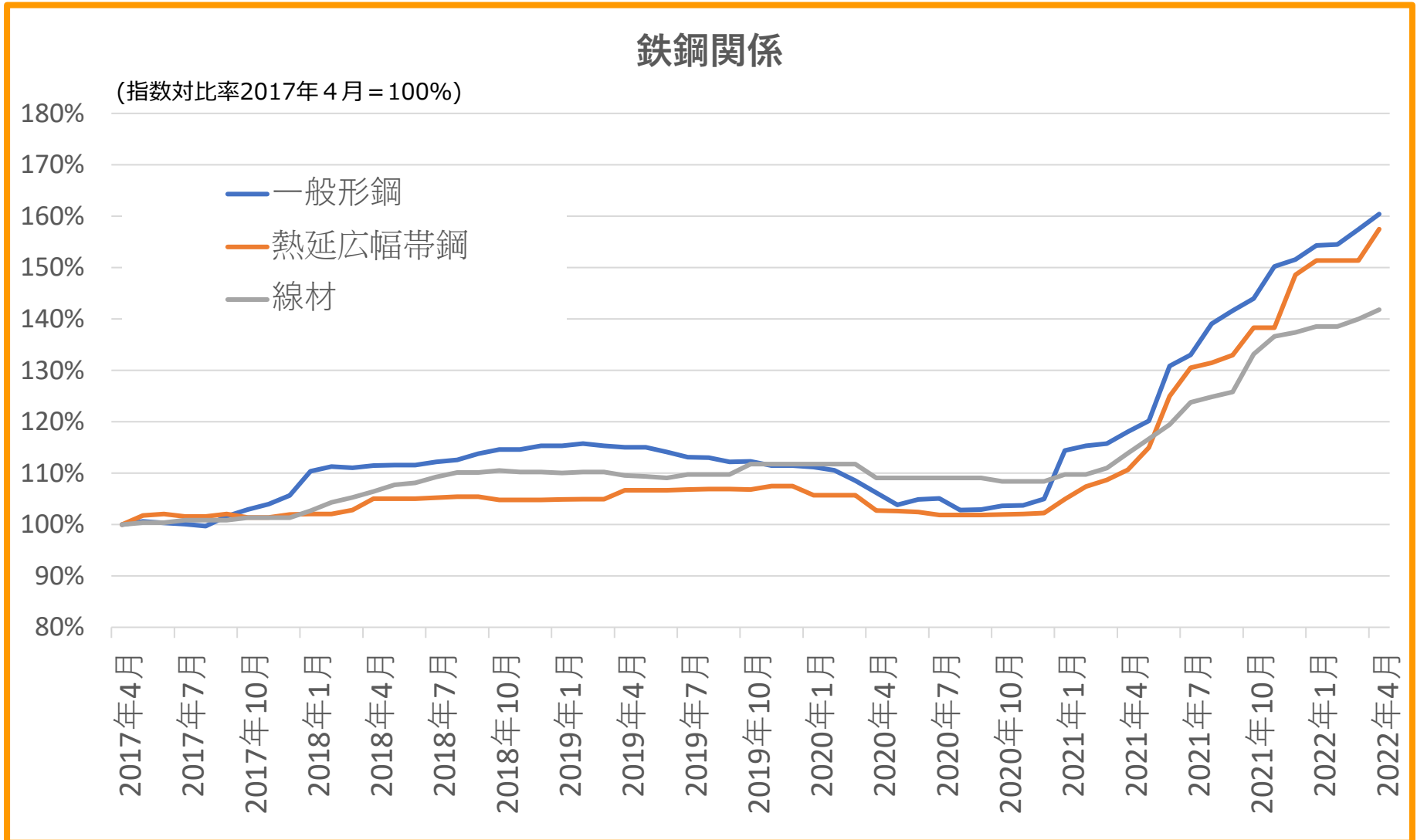
【参考】外部環境(～2022年4月)

物価動向指数 (木材関係)



【参考】外部環境(～2022年4月)

物価動向指数 (鉄鋼関係)



【参考】外部環境(～2022年4月)

物価動向指数 (段ボール関係)

段ボール関係

(指数対比率2017年4月 = 100%)

